

IX 特色ある公民館活動

地区公民館を拠点とした人材育成

～「通学合宿からのサポーター育成」～

嘉麻市 いなつき 「Let'sGo 通学合宿」 実行委員長 山下 剛

【事業名】

通学合宿サポーター育成事業

【事業の目的】

毎年9月初旬の月曜日から土曜日までの5泊6日の日程で、稲築地区公民館を利用して稲築地区の小学校の5年生を対象に行っている、いなつき「Let'sGo 通学合宿」に参加した小学6年生から中学生を対象に準指導者（サポーター）として参加。

このサポーターを将来の指導者（スタッフ）として育成しながら、「通学合宿」のみならず、稲築地区また、嘉麻市の将来を担う人材育成を図る。

【事業の実施主体】

いなつき「Let'sGo 通学合宿」実行委員会

【連携・協力機関・団体等】

「共催」 嘉麻市教育委員会
稲築地区公民館

「協力団体」 稲築食生活改善推進会
環境を考える会いなつき
社会福祉法人 愛光会（セルフ清浄）

【事業予算】

「県費」100,700円 「市費」140,543円 「合宿生」87,500円

「実行委員・サポーター」13,100円 計 341,843円・・・通学合宿予算

サポーター育成事業としての単独予算は無く、事務用品等の消耗品についてのみ通学合宿の予算使用。

【実施における経緯】

「サポーター育成事業」としては、「通学合宿」参加者を5年生を対象とし、合宿が終了したら終わりではなく、合宿に参加した子どもたちに次年度以降も関わりを持ってもらいたいとの思いで始めており、昨年度より、サポーターの日として合宿最終日の夜にサポーターが企画したアトラクションも行えるようになりました。

【事業の内容】

(サポーター会議)

月2～3回、1～2時間程度学校の授業が終わり次第、稲築地区公民館に集まり会議を行う。通学合宿に関わる「親子事前説明会・一泊事前研修会・開宿式・閉宿式」の司会進行をサポートが行うため、自分の役割等の確認や、サポーターの日（合宿最後の夜）に行うアトラクションの「企画・立案」等を協議。

「会議の様子」



(嘉麻市長・教育長等への「通学合宿」開・閉宿式の手作り案内状作成)
牛乳パックの再利用で和紙を作り「案内状」を作成し、市長・教育長へ持参。

「案内状作成中」



「市長へ持参（市長室）」



(合宿期間中)

「開宿式司会進行・調理指導・洗濯指導等で合宿生をサポート」

「開宿式（司会進行）」



「調理指導」



「洗濯指導」



「サポーターの日（合宿最後の夜）」

今年、稲築地区公民館に隣接している稲築公園で今年、肝ダメシを行いました。

騒いだりする懸念があるので、近所の方、警察署等へご協力をお願いにも行っています。



「振り返りの時間」

良かった点、悪かった点等を出し合い今後につなげていっています。

「サポーターの1年間」

- 4月 サポーターとしての参加案内（昨年までに通学合宿に参加した小学6年から中学生）
- 5月30日～8月31日（合宿開始まで） 月1～2回
- 7月23日（合宿生の親子事前説明会） 「司会進行」
- 8月27日 嘉麻市長・教育長等へ「開・閉宿式」案内状持参
- 8月28日～29日（合宿生の一泊事前研修） 「食事・洗濯等の指導」
- 9月5日（通学合宿開宿式） 「司会進行」
- 9月6日～11日（通学合宿本番）5泊6日 「食事・洗濯等の指導」（開宿式）「司会進行」サポーターは宿泊無、毎日通い。
- 9月16日・18日 振り返りの時間
- 10月5日～11月13日（サポーター1泊事後研修の協議）
- 11月27日～28日 サポーター1泊事後研修（夜須高原青少年自然の家）2日間のスケジュールから、研修内容まですべてサポーターが行いました。
- 12月 次年度の「通学合宿」への案内チラシ作り
- 3月 次年度合宿生対象の小学4年生にPR

【事業の成果】

1年間を通して活動を行う事により自立心、仲間意識、連帯感を生み、合宿生に指導する事によりリーダーとして行動・態度の変化が見えてきた。

スタッフ及び公民館職員等との係わりにより、家族とでは出来ない社会勉強をしている。

【今後の課題】

サポーターとして卒業をした後、スタッフとして戻ってくるような活動をして行きたい。また、サポーターは宿泊をしないので合宿本番中の迎えに対し、保護者の協力が必要である。

いなつき「Let'sGo 通学合宿」のオリジナルデザイン
四つの輪・・・児童、保護者、地域（スタッフ）
行政（教育委員会）が手を取って
共に歩く意味を込めて



【問い合わせ先】

〒820-0205

福岡県嘉麻市岩崎1141

稲築地区公民館

電話番号 0948-42-0750 F A X 0948-42-1366